心磨・本学・心鍛

心を磨く　本気で学ぶ　心身を鍛える

鶴ヶ島中学校
学校だより
R1.11.15
No.７
校長：青柳　高

チーム一丸となって勝ち取った県駅伝『男子１１位！』『女子優勝！！』

１１月９日（土）熊谷スポーツ文化公園で第８７回埼玉県駅伝中学校の部が行われました。県下各市町で予選を勝ち抜いてきた代表の男女各６３チームが参加してのレースでした。女子が優勝、男子が１１位という快挙を達成してくれました。

過去の県大会に於いて、昭和２７年の第１回大会と昭和５４年の第２７回大会で鶴ヶ島中学校の男子が優勝しています。今回の女子優勝は、初栄冠となる歴史に残る快挙となりました。多くの保護者や先生方、関係者が応援に駆けつけてくれていました。ありがとうございました。

女子　初優勝を飾った鶴ヶ島の４区西村から５区大鐘（右）にたすきが渡る

層厚く夢つかむ

厚い選手層が可能にした逆転劇。女子の鶴ケ島は２区から追い上げを開始すると、３区で首位に立ち、２位草加に28秒差をつける逃げ切り。「夢みたい」。４区間賞の主将西村が目を丸くするのも無理はない。

昨年７位だったチームの目標は「関東大会出場」だった。それが夏以降、チーム力が急上昇。アンカー大鐘は「目標が高くない強固な絆を武器に、初の全国へと乗り込む。

「夢みたい」。４区西村は「関東大会出場」を目標にしていました。

駅伝部は他部活も合わせ男女85人の大所帯だ。３区の１年生桑原が「仲間が多ければ多いほど、『チーム鶴中で頑張らないとな』って思う」と実感を込めれば、田倍コーチも「全員が同じ方向を向いている時は強い」と力説する。どこにも負けない強固な絆を武器に、初の全国へと乗り込む。

厚い選手層が可能にした逆転劇でした。２区、３区、４区の３人が区間１位の区間記録で走り、絶対エースのいる草加中を逆転しての勝利でした。昨年度は県で７位、目標を関東大会と定め、一人一人が自己ベスト記録を目指し苦しい練習を乗り越えての「夢実現」となりました。

男子は、昨年度、県大会に出られなかったことをバネに県大上位入賞を目標に練習に取り組んでいました。私がうれしかったことの一つに、３０００ｍの自己ベスト記録を出すと報告に来てくれる３年生がいたことです。９月下旬に、「９分７秒出せました。」と報告に来てくれた時は、男子も女子も目標達成が可能になると思いました。彼がその時ベストを出せたのは、周りの仲間のおかげであり、彼のおかげでチームのみんなが自己記録の更新することができ夢が実現したと思います。今回の結果を通過点として、次の関東・全国大会、更には来年に活かして欲しいと思いました。

大会の翌日、教育長をはじめ多くの方からお祝いの連絡を受けました。その中に、昭和５４年に鶴ヶ島中学校の男子が県大会で１位になった時の駅伝部監督からの連絡には驚きました。「鶴中の良き伝統を脈々と引き継いでくれてる生徒、保護者、先生方によろしく！」と話されていました。

１２月１日（日）に第２８回関東中学校駅伝競走大会が、横浜市金沢区海の公園なぎさ広場で実施。１２月１５日（日）に第２７回全国中学駅伝大会が、滋賀県希望が丘公園で実施。引き続き応援をお願いします。